

**11月5日は
津波防災の日
世界津波の日**



災害に「も」つよいまち下知をめざして

下知地区（高知県高知市）

1. 地区紹介（1）

下知地区は、高知市中心部のはりまや橋から東方向へ約1 kmに位置し、中心市街地の東側を形成しています。南北に最大3.5 km、東西に最大1.5 kmのエリアであり、南側を鏡川が、北側を久万川が、東側を国分川が流れています。また、地区の中央を江ノ口川が東西に流れ、これを境に地区が南北に区分されます。

街の特徴

下知地区には、「地球33番地」とも称される東経133度33分33秒、北緯33度33分33秒というユニークな地点があります。

ここを愛称「地球33番地」と名付け、地域の皆さんに馴染まれております。

また、この地域は、昭和南海地震後の津波浸水の写真にもある一体はネギ畑であり、そこで栽培されていた「下知ネギ」は、土佐の伝統野菜にも指定されています。

この「下知ネギ」に着目した昭和小学校では、校内の畑で栽培し、収穫したネギを材料とした防災食づくりなどにも活用し、下知の「伝統」を「未来」の南海トラフ地震への備えとしてつなげていく教育がされています。



1. 地区紹介（2）

災害の歴史

（1）洪水

下知地区における近年の災害としては、平成 10 年高知豪雨があります。秋雨前線による豪雨により、高知市の広い範囲において浸水が発生し、下知地区においては内水排除が追いつかず、広範囲が浸水しました。

（2）地震・津波

地震・津波による被害としては、昭和 21 年に発生した昭和南海地震により高知市では甚大な被害が発生し、多くの死者が生じました。下知地区も地盤沈下、破堤により、地区の大半が長期間にわたり浸水し、市民生活に大きな影響が生じました。

南海トラフ地震における災害リスク

高知県沖付近で発生が想定されている南海トラフ地震は、今後 30 年以内に 70～80%（地震調査研究推進本部：平成 30 年 1 月現在）の高い確率で発生すると言われています。

最大クラスの地震が発生した場合、下知地区では最大震度 7、津波浸水深は最大で 3～5 m、津波到達時間は早いところで 20～30 分となっています。さらに、最大で 1.7m も地盤が沈降するため、下知地区全域が長期にわたり浸水するとされ、大きな被害が想定されています（高知県版第 2 弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測）。



2. 地区防災計画の紹介

(1) 下知地区防災計画とは

下知地区は、標高0～2m程度という低地であり、近い将来に発生するとされている「南海トラフ地震」による揺れ、津波、長期浸水により、甚大な被害が想定されています。

下知地区では災害への備えと住民の防災意識は高まりつつありますが、自主防災組織の空白地区、地域コミュニティの不足、高齢化による担い手不足、木造住宅密集地域の存在、津波避難ビルの偏在と不足、避難行動の実効性の確保、避難所の運営体制、長期浸水時の孤立化対策や避難所の確保、被災後の人口流出につなげないための事前復興のまちづくり計画などの課題が存在しており、防災への取り組みが一層求められていることから、「下知地区防災計画」の策定を開始しました。

下知地区防災計画(共助の防災計画)					
取組方針	希望ある未来に向けた事前復興計画をつくり、 生活と街を再建するための住民を失わないことを最優先とし、 そのための個別計画を策定し、実施する(下知地区防災計画のテーマより)				
災害・対策 の段階	1.命を守る		2.命をつなぐ		3.生活を立ち上げる
	①揺れ	②津波	③長期浸水対策	④避難所開設・ 運営	⑤復旧・復興
計画	個別計画＝事前復興計画～被災しないための事前対策～				事前復興計画 ～災害後のまちづくりを考える～

2. 地区防災計画の紹介

(2) 計画策定までの取り組み

下知地区防災計画策定に当たっては、地域住民の参加する検討会や部会をワークショップの手法を用いて実施しました。ワークショップでは、アドバイザーの進行により、参加者が自由に意見を言いながら、集合知を紡ぐことにより、議論が活発化し前向きで魅力あるアイデアを出すことができました。ワークショップには多くの人に参加してもらい、自分たちで作った地区防災計画とすることを目指しました。



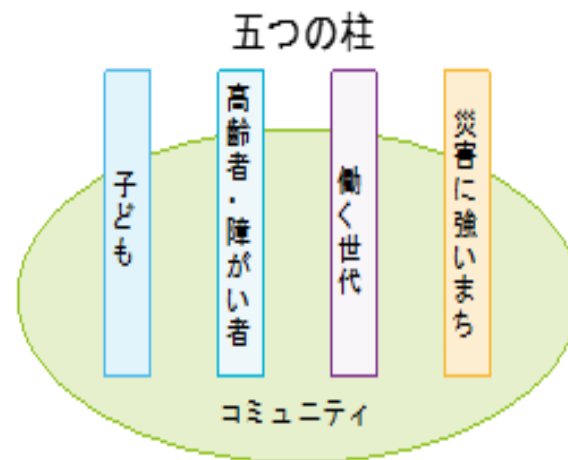
年度	検討内容	実施状況	備考
平成27年度	事前復興計画	検討会4回、訓練1回	内閣府モデル事業
平成28年度	事前復興計画	検討会4回、ブロック会8回、訓練1回	高知市モデル事業
平成29年度	個別計画	検討会4回、揺れ部会2回、津波・長期浸水部会2回、避難所部会2回（うち1回訓練）、津波・長期浸水・避難所部会1回	高知市モデル事業

2. 地区防災計画の紹介

(3) 下知地区防災計画の基本方針とコンセプト

下知地区をどんなまちにするのかという基本方針は、災害に「も」強いまちです。そしてこれを実現するための五つの柱を挙げました。

伸び伸び遊ぶ子どもたちを中心に、
地域のつながりで、楽しく安心して暮らせる、
災害に「も」強いまち下知

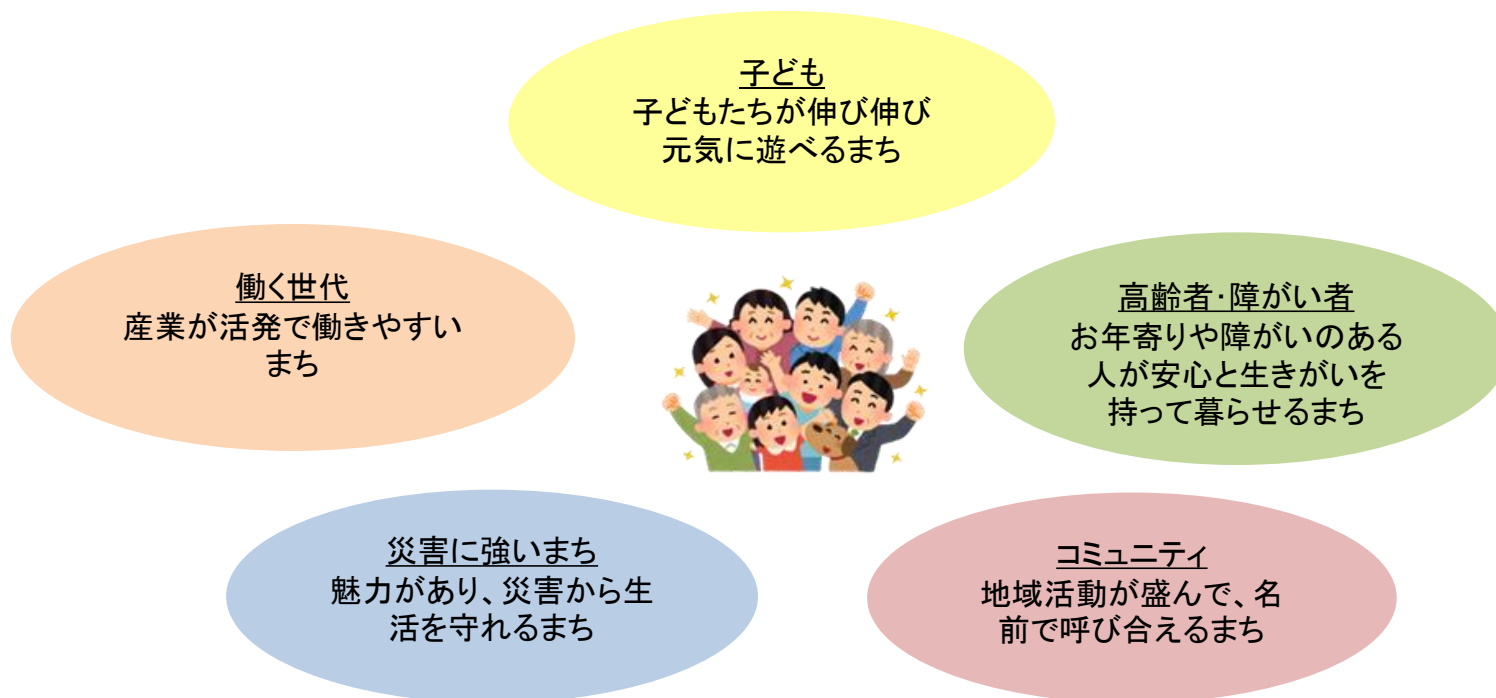


2. 地区防災計画の紹介

(4) 下知地区の目指す姿（事前復興計画）

下知地区は、南海トラフ地震後に復興計画が必ず必要となります。復興計画は、地震後に作成に取りかかるとなると、十分な時間が取れなかったという過去の震災の教訓があります。災害に備えて命を守る対策ももちろん重要ですが、命を守ったあとの将来に希望が見えなければいけない、という思いより、まず最初に「事前復興計画」の策定に取り組みました。「事前復興計画」には、大きく分けて①被災しないための“事前対策”、②災害後のまちづくりを“事前に考える”の2つの意味が含まれています。

5つの柱に対する復興の方針は以下のとおりです。



2. 地区防災計画の紹介

(5) 個別計画（事前復興計画の事前対策）の下知ベスト10

下知地区防災計画では、揺れ・津波・長期浸水・避難所運営のそれぞれから命を守るための「個別計画」も策定されています。多くの計画が立てられていますが、その中から、効果や実現可能性を考えて、以下の項目を「下知ベスト10」とし、下知地区の現在の優先項目としました。この項目を中心に、2018年度から、個別計画の実行に着手しています。

● コミュニティ対策

- ① 地域コミュニティの活性化、近所同士が顔なじみになるようにする
- ② 「下知で笑顔の花を咲かそう」ホームページ開設
- ③ 防災活動への参加者拡大



● 揺れ対策

- ④ 家具固定や安全な室内づくりを促進、家具固定のお手伝いの輪を広げる
- ⑤ 地域の助け合いで、要配慮者支援

● 津波避難・長期浸水・避難生活対策

- ⑥ 要配慮者を支えながら地域みんなで避難所運営
- ⑦ 津波避難ビルとの連携及び訓練の実施
- ⑧ 避難場所への物資備蓄

● 復旧・復興対策

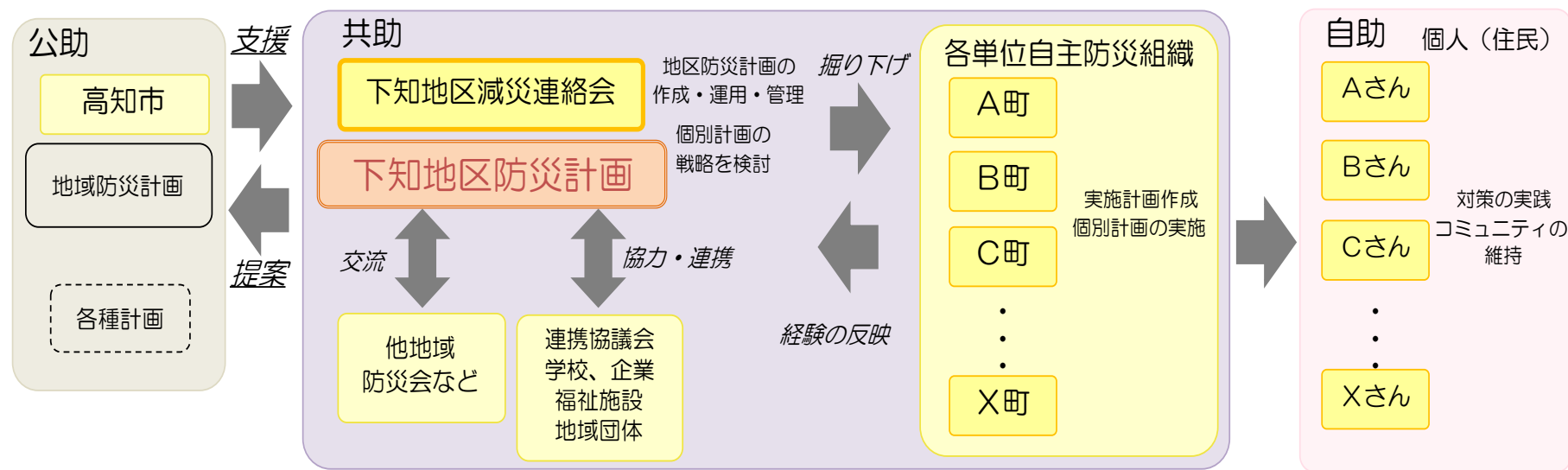
- ⑨ お互いが顔を知っていることで、生きやすく、強いまちにする
- ⑩ 生活、事業、雇用などの相談窓口を、早期に立ち上げる準備

2. 地区防災計画の紹介

(6) 今後の進め方

- ・第1版の完成後も、住民間の議論や行政との議論を事業計画の実践を通じて随時更新し、今年度は、その作業にも取りかかっています。
- ・下知地区減災連絡会として、下知地区全体の防災力向上の方針として活用します。
- ・地区防災計画の考え方を単位自主防災組織に落とし込み、各地区の実情に合わせた個別計画の策定、実施、改善に活用します。毎年「下知ベスト10」の事業計画を次頁にあるように、進捗状況をチェックし、PDCAを回しています。
- ・今後、検討を続けるに当たっては、さらに幅広い地区住民の参加を募り（量の拡大）、ワークショップ等により検討を重ねることにより計画の内容を充実（質の向上）させていきます。

計画の実施と計画更新の両輪で、災害に「も」強いまち下知を目指します。



2. 地区防災計画の紹介

(7) 下知ベスト10事業計画

今年度も、これらの取組で、地域防災力の向上へ		2020下知地区防災計画・ベスト10事業計画		赤字部分は、本年度の新規の取り組みとなっています。	
事業項目		着手	実施防災会等	取り組み内容	
揺れ対策・分野	▼お手伝いの幅を広げる				
	高齢者宅の家具固定や不要家具の処分のお手伝い。				
	→「家具転倒防止広報」と「家具片づけ」の連携講習会を行う。	継続	減災連絡会、町内会連合会、四国管財	四国管財と講習会の実施 補助対象制限が緩和された高知市の家具の転倒防止対策への申請に繋げる	
	→「家具転倒防止」補助制度申請支援を行う。	新規	減災連絡会、単位防災会	高知市の補助制度の申請を防災会単位で支援する取り組みの実施	
	→「広報 下知減災」によるアンケート調査を行う。	継続	減災連絡会	アンケート内容を決めた上で、今年度実施することとする。	
	→「シェイクアウト訓練」の参加者拡大と写真コンクール参加を。	継続	減災連絡会	9／1(土)を基準日に、各団体、防災会の実施をはじめ、「昭和秋の感謝祭」など地域イベントに可能な限り導入し、参加者全員で取り組む。また、各種訓練で実施した様子をフォトコンテストに出す仕組みづくりを行う。	
	▼地域の助け合いで要配慮者支援				
	要支援者の把握。支援者を決める。挨拶をするまじ下知の推進。				
	→高知市と協定を結び、名簿提供を受けて、個別計画づくりにモデル地区で着手する	継続	減災連絡会、町内会連合会、民協、連携協、消防分団、市社協、高知市	R1年度はサーバス知寄町Ⅰ、アルファステイツ知寄町Ⅰ・東丸池弥生自主防災会・小倉町自主防災会・知寄町2、3丁目自主防災会に名簿提供済。今年度は下知地区内の先進地区での取組について全体で情報共有する場を設け、他地区への展開を図る。そのためにも、年度当初に、県内モデル地区の参考事例について、学ぶための学習会を五団体で開催する。	
	→下知地区内の避難行動要支援者対策の支援者として地域内事業所従業員を位置づける仕組みづくり	新規	減災連絡会、単位自主防災組織、高知市、下知防災アドバイザー	日中の支援者不足の地域で、津波避難ビルを活用する事業所と協定を締結し、マンパワー不足を解消する仕組みをつくる。	
→下知地区内の要支援者個別計画のモデル事例策定への支援の仕組み作り	新規	減災連絡会、単位自主防災組織、高知市、下知防災アドバイザー	すずめ共同作業所のBCPを下知地区で共有し、訓練にも下知地区減災連絡会で参加させてもらう。		
→SOSカードを下知地区内の要支援者対策に活用する	新規	減災連絡会、単位自主防災組織	避難行動要支援者対策に活用する防災会に提供することとする。必要防災会のニーズに応えきれない場合は増し刷りすることとする。		
津波対策・長期・津波対策・避難所対策・分野	▼要配慮者を支えながら、地域皆で避難所運営				
	様々な障害への理解。支援の仕方、受け入れ方。車中泊しなくて良いような環境整備。リーダー・班員の協力。情報協力・情報共有・役割分担・情報伝達方法を検討・登録カードの工夫。指示書に備品を明記。避難所運営訓練。様々な状況で繰り返し障害者・高齢者参加。昭和の避難所運営体制づくり。話し合い、合同訓練、運営マニュアル作成。案内標示(児童作成・備蓄品の保管)。				
	→「臨時情報」への対応のあり方について、学習・準備の検討	継続	減災連絡会、高知市	「臨時情報」への対応のあり方について、学習の場を設け、避難行動要支援者対策と連携した準備についても検討する	
	→下知コミュニティセンターで避難当事者として多い近隣防災会(二葉、稲荷)主催で、避難所開設訓練の実施	継続	二葉町防災会、稲荷町防災会、若松町防災会、減災連絡会	10／25(日)に、実施する。	
	→昭和小学校を避難場所とした地域と学校の防災訓練を行う。	継続	減災連絡会、日ノ出弥生防災会、日ノ出南町防災会、昭和小、昭和小PTA	2月7日(日)の「昭和小防災オープンディ」を共同企画の訓練を行う。	
	→やえもん公園及び県立弓道場における防災見学会の実施。	継続	減災連絡会、弥右衛門部会	昨年度、コロナ対応で中止となった弥右衛門部会の防災訓練として改めて、実施することとする。	
	▼津波避難ビルとの連携及び訓練の実施				
	管理者とのルール作り、訓練・備蓄。非常時のドア開錠方法・避難経路表示。すべての世代を対象に、訓練実施、ルール作り、避難袋の事前備蓄。				
	→津波避難ビル防災会と周辺防災会の合同学習会・ルール作り・訓練	継続	減災連絡会、青柳末広防災会、青柳町防災会、小倉・東丸池防災会、知寄町2、3丁目防災会、アルファステイツ知寄Ⅱ防災会、サーバス知寄町Ⅰ防災会、セルヴィ21防災会	高知市作成のマニュアルをひな型に、各津波避難ビルでのルール作りを行う。	
	→「スマホでリレー」を取り入れた訓練を行う。	継続	減災連絡会、希望防災会、高知市防災政策課	事前学習会を行い、それを受けて、ブロックごとの予備講習会・津波避難ビルを活用した訓練に取り入れる。	
津波対策・短期・津波対策・避難所対策・分野	▼避難場所への物資備蓄				
	水・食料・燃料・照明・暖房・衛生用品・布団・嗜好品・食器・椅子・ゴミ袋などをローリングストック。コンビニ・量販店の協力。				
	→ローリングストックの啓発	新規	減災連絡会	広報「下知減災」を活用した広報を行う。	
	▼生活・事業・雇用などの相談窓口を、早期に立ち上げる準備				
	→「被災地から学ぶ復興のまちづくり」をテーマに防災講演会を開催。	継続	減災連絡会	9月 減災講演会「復興まちづくりから事前復興まちづくりへ」講師：宮定章氏(神戸学院大学非常勤講師、認定NPO法人まち・コミ代表理事)	
	→中小企業BCPの継続勉強会の開催。	新規	減災連絡会	昨年学んだ中小企業BCPを継続的に学ぶための企画をし、下知地区の中小個人事業者のBCP策定につなげる。	
	▼近所同士が顔なじみになるような地域コミュニティの活性化				
	あいさつ、声かけ、お互いが頼りになるための行事、カフェ、ランチ、ビンゴ大会、花見・カラオケ等。				
	→「わらこ夏祭り」の取り組みへの支援	継続	減災連絡会、実行委員会	昨年に続き、防災ブースも出店し、今まで以上に親子層への働きかけを展開する。	
	→「小倉町おしゃべりカフェ」の取り組みを下知地域内での横展開への支援	継続	アルファステイツ知寄町Ⅱ、小倉・東丸池町防災会	2019. 1. 20にオープンしたこのカフェの継続支援と、老人クラブの補助金を活用しながら下知地区の他地域での開催など横展開を模索する。	
津波対策・短期・津波対策・避難所対策・分野	▼「下知で笑顔の花を咲かそう」ホームページ開設				
	防災に対する情報の共有。仮住まいが別々になっても、下知の情報を共有。高齢者にはIT研修。				
	→高齢者のスマホ研修は、コメン運営委員会地域部会事業で実施。	継続	コメン運営委地域活動部会、減災連絡会	開催のうえ、HP「しもぢCH」、防災情報の入手、「スマホでリレー」などを使いこなすとともに、ZOOM会議の実施も目指す。	
	▼防災活動への参加者拡大				
	若い世代、働く世代の参加呼びかけ、工夫。参加出来ない方たちへは、家族や自分で出来る防災訓練を進める(まち歩き、マップ作成、避難時間検証など)。				
	→「しもぢCH」の更新・運営の協力者を求める	継続	連携協、減災連絡会	「しもぢCH」URL: shimoji-bonds.comでの情報発信、啓発を行う。	
	→親子津波避難ビル巡りスタンプラリー	継続	減災連絡会、地域内連携協議会、のれん33番地、昭和小、津波避難ビル	親子で参加してもらい、津波避難ビル指定標識を写真におさめる取り組みへの参加率を高める工夫を検討する。	
	→昭和小学校、城東中学校との防災教育の連携	継続	減災連絡会	昭和の津波避難ビル巡り(12月)や地域連携防災訓練協力、城東中との防災連携を図る。	

2. 地区防災計画の紹介

(8) 下知ベスト10の取り組み例①

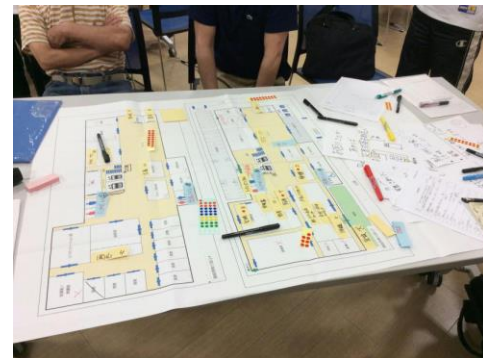
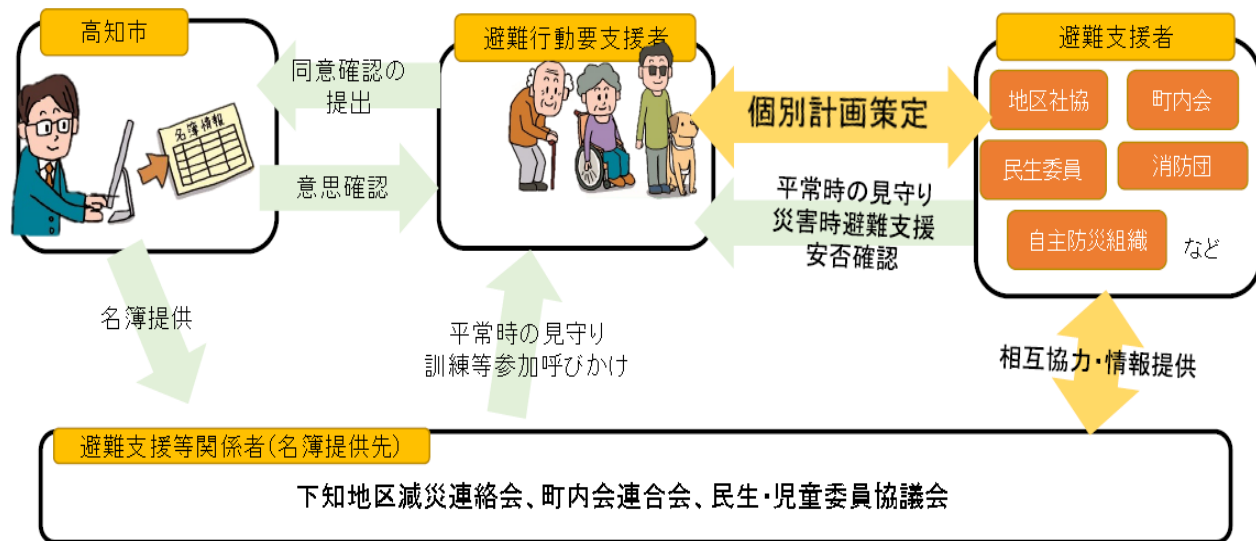
避難行動要支援者への取り組み

地域内にある障害者作業所「すずめ共同作業所」の利用者の避難行動を支援するためのBCP策定や、日常の地域との交流を深めるためのワークショップや地域交流祭に参加してきた。

また、高知市がこの避難行動要支援者対策に取り組むこととあわせて、地域で障害理解を深める学習会やワークショップを開催している。

現在、地域の中の5つの防災会が対象者名簿を活用した取り組みに着手し始めている。

下知地区での進め方



2. 地区防災計画の紹介

(8) 下知ベスト10の取り組み例②

おしゃべりカフェで日頃からの交流を

津波避難ビルのマンション防災会とそこに避難予定の町内会防災会の住民同士の事前交流を行い、いざというときの顔見知りになっておくことと、平時の高齢者同士の見守り活動につなげている。

月1回お互いが、協力し合ってつくったランチを500円で食べて、コーヒータイムなどを過ごして、親睦を深めている。



小学校を避難所とした訓練と地域の子どもたちとの防災教育連携

避難所となる小学校に地域住民が避難訓練を行い、住民だけで避難所開設ができるようになるための訓練が行われている。

また、小学生たちは、地域住民の案内で、通学路途中にある津波避難ビルを確認し、登り口などを確認する授業を毎年行っている。



2. 地区防災計画の紹介

(9) 直近の主な取組①

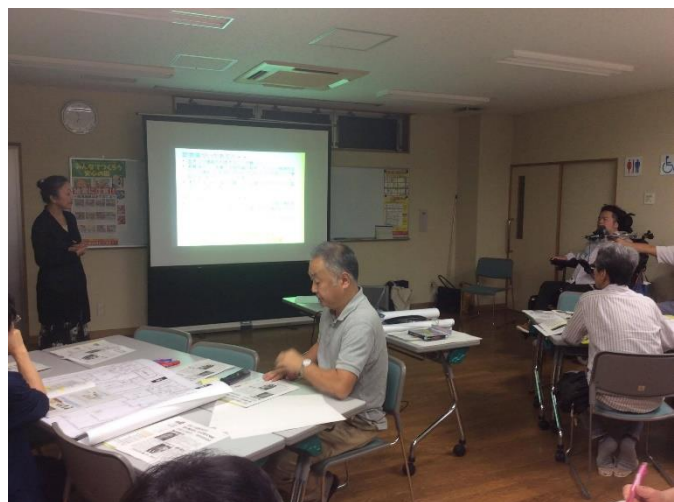
避難行動要支援者対策について

地域内の障がい者の通所施設「すずめ共同作業所」のBCP策定などと連携したり、高知市提供の避難行動要支援者名簿を活用した防災会が個別計画づくりに向けて、始動し始めました。

そんな活動の一步として「障がい理解」を深める取組やすずめ共同作業所と連携した取組をすすめています。

また、二葉町防災会が中心に取り組む日頃から要配慮者が声をあげ、避難所受付を簡素化するための「SOSカード」の横展開も始まっています。

【障がい理解と福祉施設のBCPワークショップ】



【SOSカード】

障がいの情報		下知地区 防災カード			
		SOS			
		私を助けて下さい。			
				なまえ	

わたしの情報		自主防災地区	
ふりがな		アレルギー	
名前		病・症状注意	
性別	男・女	血液型	Q・A・B・AB
生年月日	大・中・小	年	月 日
住 所		治療中疾患	
電話番号 (本人)	自宅 携帯	保険番号	国・社 NO.
電話番号 (家族)		その他	
留意事項			

2. 地区防災計画の紹介

(9) 直近の主な取組②

コロナ禍で感染症対応を軸とした避難所開設訓練



10月25日(日)には、二葉町防災会を中心に感染症対応を軸とした避難所開設の防災訓練が行われました。

三密回避やフィジカルディスタンスを保ちながら、手指消毒の感染症対策も意識した訓練に100名を超す参加者が集い、段ボールベッド組み立ての実践なども行いながら、気づきと対応の教訓を地区防災計画の更新に反映させていく予定です。





内閣府